

2023年10月7日

「防災塾・だるま」会員各位

「防災塾・だるま」
塾長 鷲山龍太郎

第193回 防災まちづくり談義の会・定例会・防災サロンのご案内

ぼうさいこくたいも盛会のうちに終えることができ、「防災塾・だるま」としても一歩前進できた感がある10月です。

さて、10月の談義の会は、屋外に出て、関東大震災の被災地を検証しながら歩く企画です。

「防災塾・だるま」会員が語り部となれることを目指したいと思います。ご参加いただきますようご案内申し上げます。

日時 2023(R5)年10月20日(金) 9:30～11:30

演題: 「横浜の関東大震災」を学ぶ街歩き

関東大震災は、「東京の地震」というイメージが払拭できないまま一世紀が過ぎた。しかし、関東大震災の震源断層は小田原から相模湾、房総沖に及ぶプレート境界であり、神奈川県直下地震だった。

当時の横浜市域は壊滅し、死者は2万6千人に及ぶ。横浜公園

では5～6万人が生き延びたが、死とは紙一重だった。関内を中心とした震災遺構をポイントに、100年前の出来事と時代の変遷を体感しながら歩く。



会場: 日本大通り駅改札口 9:30集合 (関内・日本大通りコース)

天候判断は、前日10月19日(木)19時全会員メール及びホームページに掲示

講師: 相原延光氏

講師プロフィール : 横浜国立大学教育学部地学科卒。専門は火山地質学, 地学教育。青少年のための科学の祭典実行委員。「身近な自然を生かした地学教材の研究」「神奈川県地学のガイド」(共著)。平成 17 年度文科省指定スーパーサイエンスハイスクールで防災教育のカリキュラム研究開発を推進。現在地域防災関連団体の活動を支援。神奈川地学会幹事 防災塾・だるま理事

補助講師: 自ら解説でき、エクステンション講座等で講師、補助講師ができる「防災塾・だるま」会員を養成。

参加者: 「防災塾・だるま」会員

主な巡検コース: (検討により変更する場合があります)

日本大通り駅→都市発展記念館中庭→旧モリソン商會遺構→神奈川県庁屋上→旧英国領事館(慶応元年立体地図)→大さん橋・象の鼻地区→日本大通り(横浜砂州観察)→横浜公園→馬車道

13:30～15:00 定例会

15:15～16:00 防災サロン 「防災カレンダーで考える日本の災害」鷲山龍太郎

今回は、野外活動で、保険活用が必要ですので、事前の参加申込が必要です。

[Google フォームで参加希望](#) 保険の関係もあるので、行事保険・賠償保険。(早川)

雨天決行だが、荒天中止。判断は前日19時。メール、HPで伝達。

参加費: 保険代、資料代 300円

★今回の巡検をもとに、「防災塾・だるま」としても関東大震災横浜巡検コースを精査し、「エクステンション講座」で開催します。こちらにも、ふるってご参加いただきますようご案内申し上げます。